WindowsでのHelix Coreサーバの開始と停止

Tips

ここではWindows OSにインストールしたHelix Core(Perforceサービス/Helix Core Serverサービス)の 開始/停止方法について説明しています。

■ サービスダイアログからの開始

Helix ServerがWindowsサービスとしてインストールされている場合、管理者権限を持つユーザは、 [サービス]ダイアログを使用して、サービスを開始/停止できます。 Helix CoreサービスはHelix Core Server Windowsインストーラを実行してインストールします。

サービスを開始するには:

「コントロールパネル]→[システムとセキュリティ]→[管理ツール]→[サービス]で利用可能なWindowsサービスの一覧が表示されます。 "Perforce"または"Helix Core Server"サービスが表示されるまで下にスクロールします。 サービス名を右クリックし、[開始]を選択します。 ※使用するバージョンにより"サービス"を開くまでの表示項目、手順が異なる場合があります。

図:サービス名"Perforce"の場合

いん サービス					— t	- X
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルブ(H)					
🗢 🔿 🚾 🔛 🖉	a 🔒 🛛 📷 🕨 🔳 💷 🕬					
🤍 サービス (ローカル)	サービス (ローカル)					
	Perforce	名前 ^	說明	状態	スタートアップの種類	ログオン・
	<u>サービスの開始</u>	Offline Files OpenSSH Authenticat	オフラ. tion A Agen	オフラ Agen	手動 (トリガー開始) 無効	Local S Local S
		Optimize drives	記憶.		手動	Local S
	說明:	Orchestrator Service @	D更新 Wind	実行中	自動 (遅延開始)	Local S
	The Helix Core Server manages the	Peer Name Resolution	Prot 有効.		手動	Local S
	handles client program requests, and tracks development activity.	Peer Networking Grou	uping 有効。		手動	Local S
		Peer Networking Iden	tity M 有効.	•	手動	Local S
		Perforce	Inc.			Local S
		Performance Co Performance Lo	(A) (C)		207 204	Local S
		Phone Service	呼圧(0)		画か (トリガー間か)	Local S
		Plug and Play	— 时停止(U)		勤	Local S
		PNRP Machine I	冉閒(M)		面力	Local S
		Q Portable Device 再起	冉起勤(E)		動 (トリガー開始)	Local S
		Power	すべてのタスク(0	> 動	Local S
		Print Spooler		ESC(E)	重力	Local S
		Printer Extension	えまいの音報に足まい(F) プロパティ(R)		美 力	Local S
		Q PrintWorkflow_t			重力	Local S
		Problem Reports へルプ(H)		80	Local S	
		Program Compa	Densi	** (子中)	B7	Local S
		A reprise License	- Nepri	- XU T		Local 5 *

コーカル コンピューター のサービス Perforce を開始します。

■ Helix Core Serverを手動で起動する

通常、サーバ実行可能ファイル"p4d.exe"は"P4ROOT"ディレクトリにあります。 サーバを起動するには、現在のP4ROOT・P4PORT・P4LOG・P4JOURNALの設定が正しいことを確認してから、次のコマンドを実行します。

実行コマンド

%P4ROOT%\p4d

P4ROOT・P4PORT・P4LOG・P4JOURNALで設定されている設定とは異なる設定を使用してサーバを開始する場合は、p4dコマンドラインフラグを使 用します。※大文字/小文字は区別されます。

実行コマンド例

p4d -r D:\Perforce -p 1999 -L p4d.log -J E:\PerforceJournal\journal

■ WindowsサービスとしてHelix Coreサーバを開始する

実行コマンド例

net start Perforce

※ Perforce: サービス名を指定。

■ Windowsサービスとして実行しているときにHelix Coreサーバを停止する

HelixサーバをWindowsサービスとして実行している場合は、データベースの整合性を維持し、スクリプト作成時のタイミングの問題を回避するために、 次のコマンドを使用してサービスを停止することをお勧めします。

実行コマンド例

svcinst stop -n "Perforce"

※ Perforce:サービス名を指定。

※ 32ビットバージョンのWindowsHelix Serverを実行している場合

ftp.perforce.com/perforce/tools/svcinst/bin.ntx86 から"svcinst.exe"ツールを入手する必要があります。

■ Helix Serverを手動で停止する

コマンドプロンプトでHelix Serverを"p4d.exe"として実行している場合、サービスコントロールマネージャは使用できません。次のコマンドを使用して Helix Serverを停止することができます。

実行コマンド

p4 -u super -p server:port admin stop

・super:スーパ権限ユーザ

・server:port:対象のサーバとポートを指定

■ 補足

・サービスの開始時にエラーが発生した場合、またはサービスの起動に失敗した場合、Helix Serverログを 確認して原因を特定します。 デフォルトでは、ログファイルは"log"という名前で、"P4ROOT"ディレクトリにあります。

・Windowsのスレッドを強制終了しないでください。デッドロックや破損を回避するには、Helix Serverを 停止してから再起動することをお勧めします。